	株主メモ
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当(期末配当金)の基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 <mark>™</mark> 0120-094-777(通話料無料)
インターネットホームページ	http://www.tr.mufg.jp/
公告の方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL http://www.nozawa-kobe.co.jp 不測の事態により電子公告によることができない場合は、 日本経済新聞・神戸新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第2部

株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	お手続き・お問い合せ先
● お取引の証券会社等の口座で管理されている 当社株式に関する配当金振込指定、単元未満 株式買取請求、住所変更等のお手続き	お取引口座を開設されている証券会社
★受領の配当金に関するお手続き特別口座で管理されている当社株式に関する 配当金振込指定、単元未満株式買取請求、住 所変更等のお手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

特別口座について

特別口座では、株式のご売却はできません。

証券会社に口座を開設いただき、お持ちの株式を当該口座に振り替えていただきますと、株式のご売却が可能となるばかりでなく、お持ちの株式の管理や株式に関するお手続きも当該証券会社で一括して行えるようになり便利です。

■ この報告書についてのお問い合せは右記までお願いいたします。 株式会社ノザワ TEL 078-333-4111



この報告書は、環境に配慮 した植物油インキを使って 印刷しています。



株主のみなさまへ

第154期 報告書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで



証券コード:5237

特集

デザイン・新工法

社会のニーズを追求した業界初 の取り組み。

「やすらぎと安心の創造」の企業理念のもと、建設現場の構造的人手不足 解消につた 意匠性に富んだ製品など顧客ニーズに対応した商品群を市場に投入して おります。

解消につながる商品を開発、おります。

業界初!

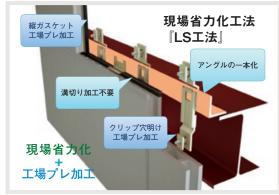
現場省力化 = 工期短縮!!在来工法と比べて30%の省力化効果!! 「LS(Labor Saving)工法」を新発売。(平成26年3月発売)

工期短縮!!

- ●業界初の技術革新 層間部のアングルー本化により、下地金物の取付作業を約1/2に軽減(従来工法比)
- ●工場プレ加工対応(穴明け、ガスケット貼り)により技能工不足・工事遅延を解消



海雲ビル アスロック60mm·タスロック60+15mm ナチュリアルプラス、現場塗装

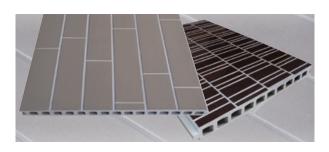


特長

- ●現場作業環境改善(粉塵なし)
- ●優れた耐震性能(面内・面外とも1/100rad 脱落なし)
- ●優れた水密性能(上限圧力2,750Pa漏水なし)
- ●専用金具(意匠登録第1492070号取得)

業界初!

「カラーセランWコート」(工場2色塗装)が新たな外壁デザインをコーディネート! グリッドデザインシリーズ「ミクティル」「ランビック」(平成26年3月同時発売)



当社独自の型付技術が可能にした「グリッドデザインシリーズ」

- ●タイルでは表現できないランダムなグリッド が壁面全体を美しく演出
- ●剥離や定期的外壁診断と無縁なタイル調仕 上げ
- ●エンボスシリーズ初の工場2色塗装仕上げ とナチュリアル仕上げが可能

デザインパネルの新たな意匠提案

意匠クオリティーを向上させたデザインパネルをリニューアル発売。

(平成26年2月発売)

ローコストデザインパネルの「ダブルカットストライプ」と「トリプルカットストライプ」の表面を当社技術により研削し、平滑性をアップ。

- ●リブのトップを研削仕上げすることで、従来品より「シャープなエッジ」を 実現
- ●リブの高さを2mmと低くすることで「ローコスト化」





代表取締役社長 野澤 俊也

ごあいさつ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し 上げます。

第154期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)におけるわが国経済は、金融緩和政策・各種経済対策を背景に円安・株高が進行、企業収益や個人消費に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしております。このような情勢のなかでの当期の取り組みと業績概況、今後の方針についてご説明申し上げます。

平成26年6月

当期の取り組みと成果

顧客ニーズに対応した商品群の拡充を図り、 3期連続増収増益達成

建築材料業界におきましては、住宅取得支援策及び消費増税前の駆け込み需要等により住宅投資は増加傾向で推移、設備投資も企業収益改善を背景に回復の動きがみられるようになりましたが、建設就業者不足による工期遅延、トラック運転手及び車両不足に起因した輸送コストの高騰等あり、先行き不透明な状況となっております。

このような状況のなか、当社グループは「やすらぎと安心の 創造」の企業理念のもと、高付加価値商品の発売、既存商品のリニューアル、環境負荷低減に貢献できる商品等、顧客ニーズに対応した商品群の拡充を図ってまいりました。押出成形セメント板「アスロック」の新たなデザインとして、独自型付け製法による「グリッドデザイン」を開発、ランダムに配置したタイルをイメージした「ランディル」を発売(平成25年7月)。グリッドデザインシリーズ専用の業界初となるタイル調2色塗装「カラーセランWコート」の発売にあわせ、新シリーズとして、ボーダー調のデザインを施した「ミクティル」、大柄な石調のデザインを施した「ランビック」を発売(平成26年3月)いたしました。

また、「アスロック」のローコストデザインパネル「ダブルカット ストライプ |・「トリプルカットストライプ |の表面仕上げクオリ ティーを向上させたリニューアル商品の発売を開始(平成26年2 月)、多様化する壁面デザインに応えてまいりました。さらに、高層 建築向けカーテンウォール「アルカス | にハイブリッド型変性無機 塗料を工場塗装した「アルカスカラーセラン」を発売(平成25年7 月)。これら高層建築向け商品とともに環境負荷低減に貢献できる 商品、パネルー体型壁面緑化システム「アスロック グリーン ウォール |・太陽電池一体型外壁システム 「アスロック ソーラー ウォール |の拡販及びメーカー直工事の施工体制整備を目的とし て平成25年12月に「アルカス環境事業部」を新設いたしました。加 えて、建設就業者不足への対策として、施工現場での作業軽減を目 的に開発した業界初の省力化工法「アスロックLS工法(Labor Saving工法) |を発売(平成26年3月)。一部の施工現場加工を予め 工場で行う「工場プレ加工」を推進するとともに、専用金具により 施工現場での作業省力化とコストダウンを実現いたしました。

生産部門では、設備化による業務の内製化を図るとともに、 NNPS(ノザワ・ニュー・プロダクション・システム)改善活動により、生産性を高めコスト削減に努めました。 管理部門では、システム改善を実施、グループ全体の業務効率 アップに繋げるとともに、有利子負債を圧縮、財務体質改善に取り 組みました。

マインケミカル事業につきましては、地域別に専任担当を配置、水稲を軸に顧客ニーズに密着した商品の提案と営業を展開、水稲への需要を伸ばしました。

海外事業につきましては、「野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公司」の生産工場において、中国市場の要求に合わせた新商品の開発に取り組み、2つの新モジュール製品を完成させるとともに、生産性の向上に努めてまいりました。また、「野澤貿易(上海)有限公司」では、施工事例の顧客見学会を開催、「アスロック」の現地現物によるPRを展開、受注数量拡大に取り組んでまいりました。

これらの結果、品種別売上高については、主力の押出成形セメント板「アスロック」は、124億59百万円(前期比19.3%増加)、住宅用軽量外壁材は26億81百万円(前期比45.8%増加)となり押出成形セメント製品合計では151億40百万円(前期比23.3%増加)、耐火被覆等は、14億4百万円(前期比2.7%減少)、スレート関連は、11億10百万円(前期比2.2%減少)となったこと等から、当連結会計年度の売上高は202億3百万円(前期比16.9%増加)となりました。

利益面につきましては、主力である押出成形セメント製品が伸長したことに加え、生産性の向上、製造原価低減並びに販売費及び一般管理費の削減に努めました結果、連結業績における営業利益・経常利益・当期純利益とも過去最高となり、営業利益は21億94百万円(前期比14.6%増加)、経常利益は22億31百万円(前期比120.9%増加)、当期純利益は、減損損失8億10百万円を計上しましたが、8億58百万円(前期比51.2%増加)となり、3期連続の増収増益を達成いたしました。

来期の見通し

環境負荷低減及び施工の省力化に貢献できる商品の 拡充により、更なる増収増益をめざします。

今後のわが国経済の見通しにつきましては、金融緩和政策・各種 経済対策による企業業績及び雇用環境の改善を背景に、景気の先 行きは緩やかな回復が続くものと予測しております。しかしなが ら、消費増税による個人消費の冷え込み、円安による輸入価格の 上昇・原油価格の高騰及び電力料金の値上に加え、建設就業者不足による工期遅延・建設計画の中止等、予断を許さない経営環境が続くものと予想されます。

このような状況のなか、当社グループは、体質強化・収益拡大・ 飛躍成長の各戦略の確実な遂行とお客様満足度向上により、更な る企業発展を推進してまいります。

販売部門では、新設したアルカス環境事業部において、「高層建築向け商品」及び「環境商品」の開発・販売に注力してまいります。また、全国的に深刻化している建設就業者不足への対策として、「アスロックLS工法」、「工場プレ加工」及び「カラーセランWコート」を展開、施工の省力化・工期短縮への提案を行い、受注数量を伸ばしてまいります。ボードにつきましては、内装及び土木市場に対して、新たな用途開拓を行い、商品開発へと繋げてまいります。

生産部門では、NNPS改善活動により更なる生産性と品質の向上及び受注から納入までのリードタイム短縮に努めるとともに、設備化による省人化を図り、収益向上に繋げてまいります。

開発部門では、顧客が求める性能・品質・コストを追求し、安全・安心・快適性に加え環境負荷低減及び施工の省力化に貢献できる商品群を拡充してまいります。

管理部門では、NNPS改善活動の手法により業務効率の向上を図り、トータルコスト削減に取り組むとともに、有利子負債の圧縮をさらに進め、財務体質を改善し、経営基盤の強化を図ってまいります。

マインケミカル事業では、地域別需要を踏まえた営業を推進、 水稲・麦・果樹用の新商品投入や施肥技術サービスの提供により、 更なる拡販へ繋げてまいります。

海外事業では、「野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公司」において、NNPS改善活動を通じて品質の向上・コスト削減に努めるとともに、新デザイン品の開発を進めてまいります。また、「野澤貿易(上海)有限公司」において、上海・北京の大手設計院へのPR活動に加え、「野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公司」と連携し、受注数量拡大へ繋げてまいります。

これらの積極的な事業展開により、平成27年3月期の連結業績は、売上高195億円、営業利益20億70百万円、経常利益20億円、 当期純利益12億80百万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご 支援を賜りますようお願い申し上げます。 連結貸借対照表

(単位:千円)

		(丰位・11)	
科目	当連結会計年度末 平成26年3月31日現在	前連結会計年度末 平成25年3月31日現在	
▶ 資産の部			
流動資産	9,165,948	8,078,435	
現金及び預金	3,545,930	3,131,079	
受取手形及び売掛金	3,802,259	3,393,187	
たな卸資産	796,497	601,341	
その他	1,024,088	989,502	
貸倒引当金	△ 2,828	△ 36,674	
固定資産	14,284,783	14,669,439	
有形固定資産	11,153,384	11,824,099	
建物及び構築物	2,255,481	2,345,602	
機械装置及び運搬具	2,074,325	1,870,677	
土地	6,501,980	7,284,080	
その他	321,596	323,739	
無形固定資産	14,913	13,842	
投資その他の資産	3,116,486	2,831,497	
投資有価証券	2,110,462	1,855,907	
その他	1,085,377	1,036,162	
貸倒引当金	△ 79,354	△ 60,572	
資産合計	23,450,732	22,747,875	

(単位	:	千円)

		(単位・十円)
科目	当連結会計年度末 平成26年3月31日現在	前連結会計年度末 平成25年3月31日現在
▶ 負債の部		
流動負債	6,146,305	5,379,924
支払手形及び買掛金	2,856,997	2,337,634
短期借入金	1,540,000	1,700,000
賞与引当金	278,000	231,000
その他	1,471,307	1,111,290
固定負債	6,479,026	7,558,856
長期借入金	2,320,000	3,500,000
再評価に係る繰延税金負債	1,707,038	1,995,317
繰延税金負債	6,421	_
退職給付引当金	_	1,484,074
退職給付に係る負債	1,908,990	_
資産除去債務	13,411	13,290
その他	523,164	566,173
負債合計	12,625,331	12,938,781
▶ 純資産の部		
株主資本	6,810,235	5,525,321
資本金	2,449,000	2,449,000
資本剰余金	1,470,572	1,470,572
利益剰余金	2,939,593	1,652,777
自己株式	△ 48,930	△ 47,028
その他の包括利益累計額	3,311,522	3,774,226
その他有価証券評価差額金	403,422	302,774
土地再評価差額金	2,901,730	3,422,930
為替換算調整勘定	197,439	48,521
退職給付に係る調整累計額	△ 191,069	_
少数株主持分	703,642	509,546
純資産合計	10,825,400	9,809,093
負債純資産合計	23,450,732	22,747,875

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:千円)

2,231

		(112 113)
科目	当連結会計年度 平成25年4月 1 日から 平成26年3月31日まで	前連結会計年度 平成24年4月 1 日から 平成25年3月31日まで
売上高	20,203,414	17,287,581
売上原価	13,807,634	12,259,646
売上総利益	6,395,779	5,027,934
販売費及び一般管理費	4,201,717	4,005,736
営業利益	2,194,062	1,022,198
営業外収益	199,710	194,288
営業外費用	162,570	206,379
経常利益	2,231,201	1,010,107
特別利益	54,160	824
特別損失	831,968	30,494
税金等調整前当期純利益	1,453,393	980,437
法人税、住民税及び事業税	898,342	472,319
法人税等調整額	△ 357,894	△ 29,823
法人税等合計	540,448	442,495
少数株主損益調整前当期純利益	912,944	537,942
少数株主利益又は少数株主損失(△)	53,987	△ 30,196
当期純利益	858,957	568,138
(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表	示しております。	

連結キャ	ッシュ・	フロ-	-計算書

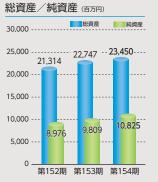
(単位:千円)

科目	当連結会計年度 平成25年4月 1 日から 平成26年3月31日まで	前連結会計年度 平成24年4月 1 日から 平成25年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,260,487	965,010
投 資 活 動 に よ るキャッシュ・フロー	△ 423,023	△ 572,688
財 務 活 動 に よ るキャッシュ・フロー	△ 1,458,602	323,561
現金及び現金同等物に 係 る 換 算 差 額	35,989	10,227
現金及び現金同等物の増 減 額	414,851	726,110
現金及び現金同等物の 期 首 残 高	3,131,079	2,404,968
現金及び現金同等物の 期 末 残 高	3,545,930	3,131,079
(注) 記載や顔は壬田土港を切り拾てて事	元L. ております	

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結決算ハイライト







5

海外レポート

贷件过限主

貸借対照表	(単位:千円)		
科目	当事業年度末 平成26年3月31日現在	前事業年度末 平成25年3月31日現在	
▶資産の部			
流動資産	8,198,543	7,211,232	
固定資産	13,409,020	14,099,613	
有形固定資産	9,743,666	10,616,716	
無形固定資産	14,544	13,473	
投資その他の資産	3,650,809	3,469,423	
資産合計	21,607,564	21,310,846	
▶負債の部			
流動負債	6,026,399	5,172,881	
固定負債	5,937,332	7,294,851	
負債合計	11,963,732	12,467,732	
▶ 純資産の部			
株主資本	6,352,401	5,118,930	
資本金	2,449,000	2,449,000	
資本剰余金	1,190,882	1,190,882	
利益剰余金	2,856,273	1,620,900	
自己株式	△ 143,754	△ 141,851	
評価・換算差額等	3,291,431	3,724,183	
その他有価証券評価差額金	389,700	301,252	
土地再評価差額金	2,901,730	3,422,930	
純資産合計	9,643,832	8,843,114	
負債純資産合計	21,607,564	21,310,846	

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しており
--

損益計算書

(単位:千円)

科目	当事業年度 平成25年4月 1日から 平成26年3月31日まで	前事業年度 平成24年4月 1 日から 平成25年3月31日まで
売上高	17,475,487	14,482,700
売上原価	11,483,251	9,787,145
売上総利益	5,992,235	4,695,555
販売費及び一般管理費	3,840,405	3,599,088
営業利益	2,151,829	1,096,467
益以水業営	115,874	213,058
営業外費用	160,493	204,049
経常利益	2,107,210	1,105,476
特別利益	54,160	_
特別損失	831,918	29,690
税引前当期純利益	1,329,452	1,075,785
法人税、住民税及び事業税	878,962	469,284
法人税等調整額	△ 357,024	△ 37,757
法人税等合計	521,938	431,527
当期純利益	807,514	644,258

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

「野澤貿易(上海)有限公司」では、施工事例の見学会を開催、 「アスロック」の現地現物によるPRを展開しております。



▲金橋プロジェクト(上海)(アスロック60mm アスロックルーバー)

中国・上海市の建築展覧会へ アスロックルーバーをメインに プレゼンテーションを実施。





トピックス

当社は、日経BP社発行の建築総合情報誌「日経アーキテ クチュア | 2013年11月25日号の 「採用したい建材・設備 メーカーランキング2013]押し出し成形セメント板な どの外装材(セメント系、樹脂系など)部門で、8年連続第 1位、「RC用外断熱工法」部門第5位、「耐火被覆材」部門 第5位に選ばれました。



押し出し成形セメント板などの外装材 (セメント系、樹脂系など)部門 1位

読者を対象に、建材・設備メーカーの 製品採用意向等アンケート調査 2013年11月25日号

会社概要

社 名 株式会社ノザワ NOZAWA CORPORATION

割 業 明治30年8月17日

立 大正2年9月28日

資 本 金 24億4,900万円

従業員数 321名(連結)

子 会 社 株式会社ノザワ商事

株式会社ノザワトレーディング 野澤貿易(上海)有限公司

野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公司

役員 (平成26年6月27日現在)

代表取締役社長 俊 也 三七司 Ξ 役 義 章 取 誠 司 常勤監 明 社外監査 社 外 監 羽 良 社外監査役 犬

ネットワーク

- 本社 〒650-0035 神戸市中央区浪花町15番地 TEL078-333-4111 (代)
- 支店・営業所
- 札幌支店 札幌市中央区大通西1丁目14番2 (桂和大通ビル50)
- 仙台支店 仙台市青葉区一番町2丁目8番15号(太陽生命仙台ビル)
- 東京支店 東京都中央区新富1丁目18番1号(住友不動産京橋ビル)
- 名古屋支店 名古屋市中区錦2丁目4番15号(ORE錦2丁目ビル)
- 北陸営業所 金沢市本町1丁目5番1号(リファーレ)
- 関西支店 神戸市中央区浪花町15番地
- 広島支店 広島市中区小町3番25号 (三共広島ビル)
- 松山営業所 松山市大手町2丁目9番地4(石丸ビル)
- 九州支店 福岡市博多区博多駅前1丁目4番4号 (IPR博多ビル)



フラノ事業所 札幌支店

● 研究所

技術研究所 埼玉県深谷市折之口1851番地4号

● 工場

フラノ事業所 北海道富良野市山部東町4番1号

埼玉工場 埼玉県比企郡吉見町長谷1947番地

播州 工場 兵庫県加古郡播磨町古宮

高砂工場 兵庫県高砂市高須1番1号

● 海外関連会社

野澤貿易(上海)有限公司

中国上海市天山路601号 呈遠大厦701室

野澤貿易(上海)有限公司 北京事務所

中国北京市海淀区復興路17号 国海広場D座1511室

野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公司

中国遼寧省瀋陽経済技術開発区渾河20街15号

株式の状況

株式情報(平成26年3月31日現在)

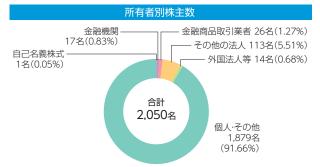
発行	可能株式	総数	60,000,000株
発行	斉株式の	総数	24,150,000株
株	主	数	2,050名

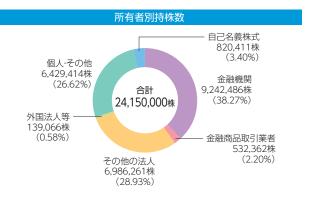
大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率
日本興亜損害保険株式会社	1,739	7.45
日本生命保険相互会社	1,217	5.22
株式会社三井住友銀行	1,153	4.94
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,072	4.59
神栄株式会社	973	4.17
東京海上日動火災保険株式会社	724	3.10
ノザワ従業員持株会	636	2.72
ケーオーディー株式会社	616	2.64
CBC株式会社	603	2.58
三井住友海上火災保険株式会社	577	2.47
(3) 1+1411 + 1 + 3 14 14 (000 44414) + 1490 1		

(注) 持株比率は自己株式 (820,411株) を控除して計算しております。

株式分布状況





ホームページのご案内

URL http://www.nozawa-kobe.co.jp

当社ホームページでは、株主、投資家の皆様へのタイムリーなIR情報の開示に努め、施工例、新商品情報も随時更新しております。

